



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月26日

上場会社名 イビデン株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4062 URL <https://www.ibiden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 武志
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部副本部長 (氏名) 佐野 尚 (TEL) 0584-81-3111
 四半期報告書提出予定日 2023年10月31日 配当支払開始予定日 2023年11月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	187,640	△12.1	24,072	△41.9	26,824	△41.1	17,892	△43.8
2023年3月期第2四半期	213,579	9.1	41,404	18.2	45,536	27.2	31,812	42.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 47,226百万円(△0.8%) 2023年3月期第2四半期 47,629百万円(95.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	128.10	—
2023年3月期第2四半期	227.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	898,076	470,166	51.6
2023年3月期	857,508	425,606	48.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 463,564百万円 2023年3月期 419,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	20.00	50.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	380,000	△9.0	49,000	△32.3	51,000	△33.1	33,000	△36.8	236.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 2社 (社名) 揖斐電電子 (北京) 有限公司、IBIDEN DPF FRANCE S. A. S

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	140,860,557株	2023年3月期	140,860,557株
2024年3月期2Q	1,166,596株	2023年3月期	1,211,148株
2024年3月期2Q	139,672,639株	2023年3月期2Q	139,624,411株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、総じて回復基調にはありましたが、世界的な金融引締めによる影響や中国における経済成長の鈍化など、不透明かつ不安定な状況が継続しました。国内経済においても、緩やかな回復は継続したものの、物価上昇や世界経済の下振れリスクなど、楽観視できない状況が継続しました。

半導体・電子部品業界の市場は、パソコン市場において、昨年度後半からの需要急減速に伴う在庫調整が継続しました。サーバー市場においては、生成AI関連を中心とした新たな成長領域は好調に推移したものの、既存のデータセンター向けサーバー市場は大口ユーザーによる投資抑制が継続し、全体として厳しい状況となりました。

自動車業界の排気系部品市場は、世界的な半導体不足およびCOVID-19を発端としたサプライチェーンの混乱による影響からの回復が進み、自動車生産台数が昨年度対比で徐々に増加しつつあります。

このような情勢のもと、当社におきましては、2023年度より始動しております5ヵ年の新たな中期経営計画「Moving on to our New Stage 115 Plan」に基づき、5本の活動の柱(強化していく力)と製造業としての基盤活動を軸に、事業環境変化に対応し、持続可能な成長の実現に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,876億40百万円と前年同期に比べ259億38百万円(12.1%)減少しました。営業利益は240億72百万円と前年同期に比べ173億31百万円(41.9%)減少しました。経常利益は268億24百万円と前年同期に比べ187億12百万円(41.1%)減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は178億92百万円と前年同期に比べて139億19百万円(43.8%)減少しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

パッケージ(PKG)事業におきましては、生成AI用サーバー向けの受注は堅調に推移したものの、昨年度下期から続くパソコン需要の減速およびデータセンター向けサーバー市場の低迷を受け、生産数量を調整した結果、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、電子事業の売上高は1,025億79百万円となり、前年同期に比べ23.6%減少しました。同事業の営業利益は159億91百万円となり、前年同期に比べ54.9%減少しました。

セラミック事業

自動車排気系部品であるディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、大型商用車向け製品への受注シフト及び日米欧の3拠点の役割を活かした最適地生産を進めたことに加えて、エネルギー費用を中心としたコスト上昇分を、顧客との合意に基づいて販売価格に転嫁した効果などにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

触媒担体保持・シール材(AFP)は、サプライチェーンの混乱による影響からの回復など、世界的に自動車市場が回復したことにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

特殊炭素製品(FGM)は、Si半導体向け製品が堅調に推移したことに加え、SiCパワー半導体向け製品の需要の高まりを受け、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、セラミック事業の売上高は481億10百万円となり、前年同期に比べ8.6%増加しました。同事業の営業利益は57億57百万円となり、前年同期に比べ49.4%増加しました。

その他事業

建材部門におきましては、住宅着工の落ち込みによる販売棟数の減少などにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ減少しました。

建設部門におきましては、受変電設備・発電設備の建設工事の受注が好調に推移したことに加え、工事が順調に進捗したことにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

その他部門におきましては、造園事業において、大型工事物件の施工が順調に進捗したことに加え、食品加工事業が堅調に推移したことなどにより、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、その他事業の売上高は369億50百万円となり、前年同期に比べ5.7%増加しました。同事業の営業利益は、24億61百万円となり、前年同期に比べ6.2%増加しました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想については、2023年5月1日に公表した通期の業績予想を修正しました。詳細については、本日公表した「2024年3月期第2四半期連結累計期間の予想値と実績値との差異及び2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	302,419	296,591
受取手形、売掛金及び契約資産	75,942	77,393
電子記録債権	3,563	3,754
商品及び製品	30,871	22,127
仕掛品	21,191	18,038
原材料及び貯蔵品	27,132	25,769
その他	15,765	19,602
貸倒引当金	△59	△73
流動資産合計	476,825	463,203
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	77,000	78,007
機械装置及び運搬具（純額）	82,147	75,484
土地	20,360	20,606
リース資産（純額）	253	264
建設仮勘定	119,038	156,180
その他（純額）	8,167	8,081
有形固定資産合計	306,967	338,626
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	61,342	86,122
長期貸付金	8	8
繰延税金資産	5,533	3,697
その他	1,889	1,832
貸倒引当金	△238	△236
投資その他の資産合計	68,536	91,423
固定資産合計	380,682	434,872
資産合計	857,508	898,076

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,262	28,157
電子記録債務	12,169	10,777
短期借入金	65,030	45,030
1年内償還予定の社債	-	35,000
未払金	22,308	20,867
未払法人税等	14,268	8,875
賞与引当金	5,138	5,104
役員賞与引当金	186	-
設備関係支払手形	1	15
設備関係電子記録債務	26,601	27,897
その他	49,354	46,819
流動負債合計	223,321	228,544
固定負債		
社債	100,000	65,000
長期借入金	105,000	125,000
リース債務	167	157
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	573	688
株式報酬引当金	548	497
繰延税金負債	825	6,526
その他	1,398	1,427
固定負債合計	208,581	199,365
負債合計	431,902	427,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,494	64,494
利益剰余金	229,804	244,899
自己株式	△3,126	△2,980
株主資本合計	355,324	370,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,430	41,818
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	39,323	51,021
その他の包括利益累計額合計	63,914	92,999
非支配株主持分	6,367	6,601
純資産合計	425,606	470,166
負債純資産合計	857,508	898,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	213,579	187,640
売上原価	144,903	136,435
売上総利益	68,675	51,204
販売費及び一般管理費	27,270	27,131
営業利益	41,404	24,072
営業外収益		
受取利息	262	626
受取配当金	799	867
持分法による投資利益	0	1
為替差益	3,034	1,119
その他	479	542
営業外収益合計	4,577	3,157
営業外費用		
支払利息	127	303
社債発行費	197	-
その他	119	101
営業外費用合計	444	405
経常利益	45,536	26,824
特別利益		
固定資産売却益	75	4
投資有価証券売却益	19	0
関係会社株式売却益	-	3,067
受取保険金	105	-
その他	28	23
特別利益合計	229	3,095
特別損失		
固定資産除却損	2,218	811
減損損失	90	489
その他	282	419
特別損失合計	2,591	1,721
税金等調整前四半期純利益	43,175	28,198
法人税等	11,232	10,172
四半期純利益	31,942	18,025
非支配株主に帰属する四半期純利益	130	133
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,812	17,892

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	31,942	18,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,473	17,480
為替換算調整勘定	21,160	11,720
その他の包括利益合計	15,687	29,200
四半期包括利益	47,629	47,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,504	46,977
非支配株主に係る四半期包括利益	125	248

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	134,316	44,297	178,614	34,964	213,579	—	213,579
外部顧客への売上高	134,316	44,297	178,614	34,964	213,579	—	213,579
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	41	41	7,039	7,080	△7,080	—
計	134,316	44,338	178,655	42,004	220,659	△7,080	213,579
セグメント利益	35,456	3,852	39,309	2,317	41,627	△223	41,404

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△223百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	102,579	48,110	150,689	36,950	187,640	—	187,640
外部顧客への売上高	102,579	48,110	150,689	36,950	187,640	—	187,640
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	23	25	6,719	6,745	△6,745	—
計	102,582	48,133	150,715	43,669	194,385	△6,745	187,640
セグメント利益	15,991	5,757	21,748	2,461	24,209	△137	24,072

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△137百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに帰属しない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては489百万円であります。